

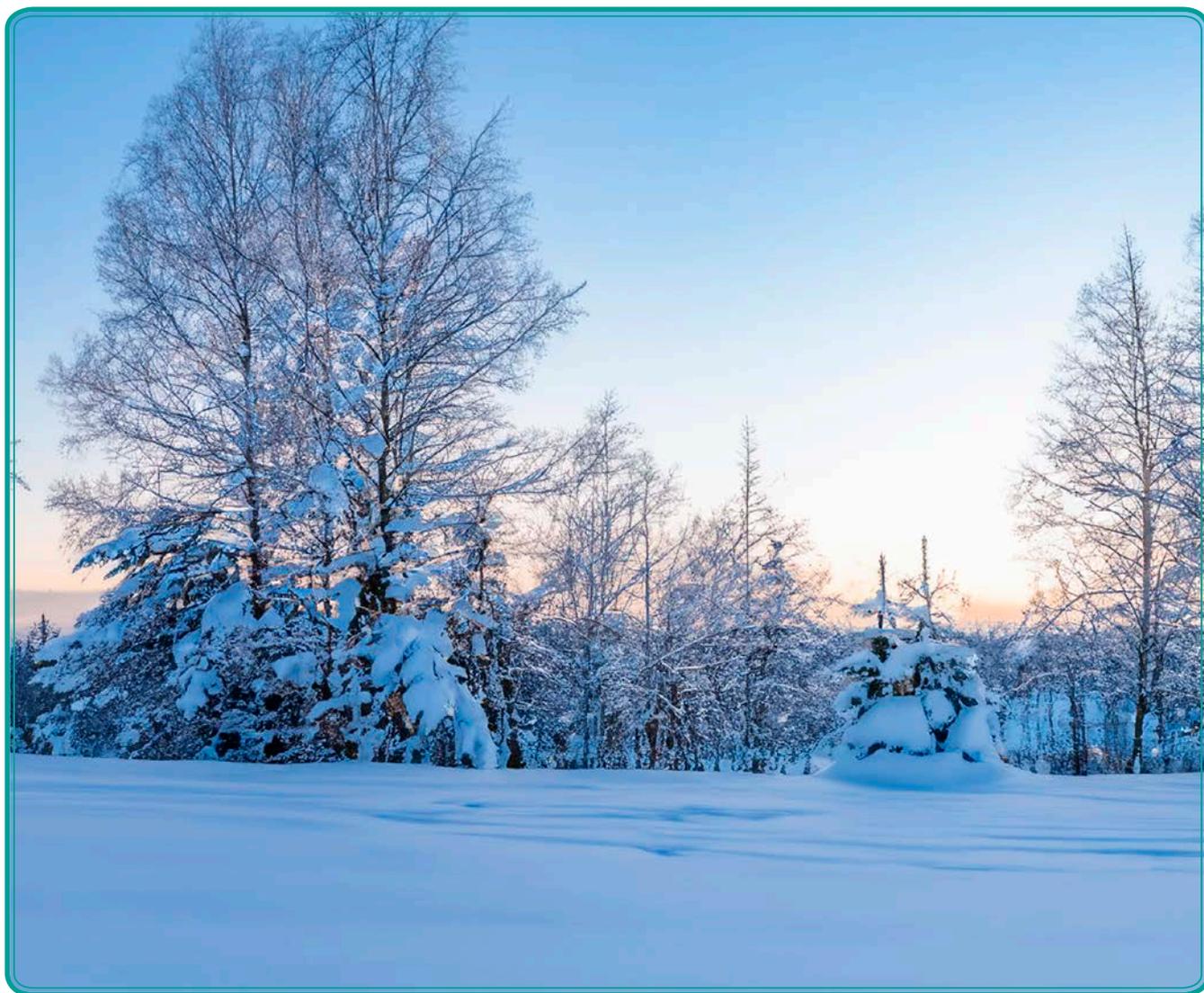
一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2023年12月
第231号

もくじ

報 告	2
各部局県士会活動案内・報告	3
お知らせ	12
編集後記	14



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : t.kouketsu@asunarogroup.jp

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.232 2月号 (1月下旬～2月上旬着) ✕切 12月31日
No.233 4月号 (3月下旬～4月上旬着) ✕切 2月28日
No.234 6月号 (5月下旬～6月上旬着) ✕切 4月30日

No.235 8月号 (7月下旬～8月上旬着) ✕切 6月30日
No.236 10月号 (9月下旬～10月上旬着) ✕切 8月31日
No.237 12月号 (11月下旬～12月上旬着) ✕切 10月31日

❖報 告❖

🗨️話そう！つながろう！理学療法



第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会
準備委員長 薄 直 宏

「話そう！理学療法」

コロナで閉塞感が否めなかった3年間。対面で自らの研究や取組みを議論する機会が激減したと思います。このことは、学びの停滞につながってしまっているのではないかと危惧しています。

今回は学会の原点に戻り、自らの研究や取組みを報告し対面で議論したいと考え、本テーマ案を考えました。

これは、今年の夏頃に田中会長が考えられた関ブロ学会のコンセプトです。

皆様もご存じかと思いますが、関東甲信越ブロック理学療法士学会（以下：関ブロ）は1都9県で10年ごとに担当が回ってきます。10年前は三輪真人 学会長、竹内弥彦 準備委員長のもと平成26年10月に幕張メッセで開催されました。今回10年ぶりに千葉で開催します。会期は令和6年10月5・6日（土日）、会場は同じく幕張メッセです。

前回と違うところは（今後、沢山でてくるとは思いますが）、第30回千葉県理学療法学会と合同開催になります。この合同大会長、関ブロ大会長（以下：合同大会長）には田中康之さん、第30回千葉県理学療法学会（以下：学会長）には小林好信さんが就任されました。あわせて準備委員会の組織についても紹介します。事務局に大住崇之さん、運営局に小川明宏さん、学術局に竹内真太さん、渉外局に中村亮太さん、広報局に桑江豊さんが就任されました。若くエネルギーあふれる布陣です。今まさにこの仲間達と鋭意準備を進めているところです。また千葉県理学療法士会事務局の奥村さんにも諸々サポートいただいております。いつもありがとうございます。

この仲間達と準備を進めていく中で私自身とても印象的な出来事が2つありました。1つは、学会のテーマが決まった瞬間です。田中 合同大会長より「話そう！理学療法」が提案されました。対面でしっかり話ができる学会としたいと熱い思いが準備委員それぞれに刺さったと思います。その話には小林 学会長がインスパイアされ、「つながろう！」も入れませんかと提案してくれました。「話そう！つながろう！理学療法」委員それぞれが情景をイメージできるとも素敵なテーマが決定した瞬間でした。

私たち準備委員は、このテーマを問いとして皆様にどうすれば最高の「話そう！つながろう！」になるかを考えています。

もう1つは、先日の大宮ソニックシティで開催されました第42回関ブロ学会での出来事です。視察や来年のPRのため参加してきました。PRブースを用意していただき私たちはビブスを着用してブースの前を通る参加者の方々にチラシを配布しました。

「おー久しぶりー!!」と偶然数年会っていない友人から声をかけられました。お互いの近況や昔話や次はプライベートで会おうなど数十分の立ち話に、旧交を温めるとはこんな感じなんだなーと幸せな気持ちになりました。

SNSで友人の活躍は目にしており感覚的には久しぶり感は少ないのですが、リアルでの語らひはその人の話し方や間合いや息遣いを感じることができやっぱり対面大事だよと改めて感じました。

このような出来事も、人との語らひや、つながりがベースにあると思います。

私は、今まで理学療法士として沢山の方々に助けてもらいました。当たり前かもしれませんが、助けてくれたのはつながりのある仲間達です。そしてつながるためには出会いが大切です。

私たち準備委員は来年、メッセで志の同じ仲間達と話し、つながる場所を皆様に届けることをお約束します！

令和6年 幕張メッセ 来年はみんなで学会開催

対話 プラス プレゼンテーション

使って広がるリレーション

❖各部局県士会活動案内・報告❖

📖学術局 報告

学術局 局長 高 杉 潤

今期、学術局長を務めることとなりました、東都大学の高杉潤と申します。どうぞよろしく願いいたします。県士会および県士会員の学術発展のために少しでも貢献できれば幸いです。

今年度の県士会理事の改選により、理事も組織も改変され、学術局の組織編成も大きく変わりました。以下、役員・委員長より一言ご挨拶をさせていただきます。

学術局 局次長 森 下 勝 行

今期、学術局次長を拝命いたしました、城西国際大学大学院の森下勝行と申します。高杉学術局局長および学術局員の皆様と力を合わせて、県士会の学術活性化および県士会員の学術発展に期する活動を展開してまいりたいと思います。県士会員の皆様におかれましては、どうか一緒に手を携えながら県士会の学術を盛り上げていただけますと幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

【学術編集委員会より】

学術誌編集委員会 委員長 高 杉 潤

既に県士会ホームページでもご案内しておりますが、千葉県理学療法士会が発行する学術誌「理学療法の科学と研究」は、昨年度の第14巻（2023年2月発行）から冊子体を廃止し、J-STAGEを利用した電子版のみのオープンアクセスとなりました。また、第1巻から論文が閲覧可能となりましたので、是非ともご覧ください。論文投稿は県士会員限定になりますので、奮ってご投稿ください。

【研究支援委員会より】

研究支援委員会 委員長 森 下 勝 行

研究支援委員会では、第一に、県士会員の研究マインド・研究力の向上を目的とした「研究支援セミナー」を開催いたします。第二に、県士会員の積極的な研究活動をサポートすべく、「学術研究助成」の公募を行

います（今期終了）。第三に、学会発表のサポートを実施いたします。次年度の千葉県理学療法学会でも学会のTHINK systemを通じて学会発表支援をさせていただきます予定です。

県士会員の研究活動をあらゆる視点からバックアップさせていただきます。今後は、研究支援セミナーや学術研究助成のブラッシュアップ、県士会員の研究に関するニーズ・課題調査、さらなる発展的事業の企画にもチャレンジしていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

【研究倫理委員会より】

研究倫理委員会 委員長 三 和 真 人

研究倫理委員会を立ち上げて6年が経過しましたが、審査の件数が少ない状況です。県士会会員の皆様からの研究に関する倫理関係のよろず相談も受けております。どうぞ、些細なことでも結構ですので遠慮なくお尋ねください。お待ちしております。

【理学療法士講習会推進委員会より】

理学療法士講習会推進委員会

委員長 藤 井 顕

委員長を務めてまいります、藤里ハビリテーション学院の藤井顕と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

2023年度理学療法士講習会は、日本理学療法士会の助成金事業として各士会1本にて企画公募され、承認後、決定される講習会となります。

千葉県県士会では、12月16日を予定し、「臨床におけるコミュニケーション教育（千葉県理学療法士講習会）」として、実施担当者 薄直宏先生（東京女子医科大学八千代医療センター）にて開催いたします。

また、理学療法士講習会に関連し、次の2つの講習会も開催しております。9月2日を予定し、「臨床を豊かにする臨床運動生理学の基礎—運動に対する生体反応の科学とリスク管理—」として、実施担当者 西田裕介先生（国際医療福祉大学・国際医療福祉大学成田病院）。

1月21日を予定し、「心疾患の理学療法の地域連携—シームレスな心疾患サポートの構築に向けて—」として、実施担当者 小川明宏先生（東邦大学医療セン

ター佐倉病院)にて開催いたします。いずれも申込はマイページより受付となります。

委員会では、これからも有益な講習会開催に努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

生涯学習局 報告

【生涯学習局について】

生涯学習局 局長 小林 好信

登録理学療法士取得に向けて、皆さまの履修状況を確認しながら、広報のあり方についても検討を行い、制度や各種研修会情報を会員の皆さまに周知することができるように体制を整えていきたいと考えております。皆さまにおかれましても、日本理学療法士協会マイページにて履修状況を定期的にご確認いただきますようお願い申し上げます。

【卒前卒後教育連携推進委員会より】

生涯学習局 局次長

卒前卒後教育連携推進委員長 竹内 真太

卒前卒後教育連携推進委員会では、日本理学療法士協会プログラム版臨床実習指導者講習会の開催を支援しています。今後の開催予定や申し込み条件は千葉県理学療法士会ホームページの臨床実習指導者講習会のページから確認ができます。臨床実習指導者講習会は、実務経験4年以上(5年目以上)の理学療法士が受講可能となります。自身の教育スキルのアップや、後進の育成のために、是非、受講をお願いします。

【前期研修部について】

前期研修部 部長 高原 剛

この度、6月に生涯学習局が新設されて以来、不在となっております前期研修部の部長を拝命いたしました、季美の森リハビリテーション病院の高原剛です。前期研修部は、登録理学療法士取得に向けた前期研修の履修を促進する部署となっております。現在、前期研修の座学は履修済で実地研修が修了していない会員が半数以上いらっしゃいます。実地研修は生涯学習制度が改変され、新たに導入された制度であり、手続きなど周知がなされていない部分かと存じます。ま

ずは、現状の課題等を調査しながら、皆様の履修促進につながるよう整備、サポートさせていただき所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【後期研修部について】

後期研修部 部長 池田 一樹

ブロック(県士会)主催の症例検討会を7月から開催しております。毎回、数十名の後期研修履修中の県士会員の方々にご参加いただいております。一方で、発表者が確保できず中止になる症例検討会も発生しております。症例検討会にて発表を検討している方は、県士会ホームページの【発表者募集】からエントリーいただくか、各ブロックのコアメンバー・学術担当者にご相談ください。

【士会主催研修会について】

企画研修部 部長 室井 大佑

企画研修部では、士会主催研修会として、ブロック開催の登録理学療法士や認定・専門理学療法士の更新研修会をサポートしております。各ブロックでの勉強会は11月までに5回開催されました。各ブロックで魅力ある研修会を開催していただいておりますが、情報が十分に行き届いていないためか、参加者がやや少ない状況にあります。千葉県理学療法士会ホームページにアクセスし、「士会主催研修会」の情報を随時チェックするようにしていただければと思います。また、このような勉強会を開催して欲しいなどの要望があれば、ブロック担当者にご相談ください。



☑ハラスメント対策委員会WEB講習会報告

ハラスメント対策委員会 委員長 中村 亮太

10月1日（日）web講習会

第一部 9：00～10：30

入門！ハラスメント防止講習会

講師：21世紀職業財団

公認講師 清水知子氏

「ハラスメントってどこから？」意外にあいまいな『ハラスメント』について、分かりやすくお話しいただきました。



普段、リハビリテーションを行う中で遭遇することが多いハラスメントを中心に具体例・防止策含めとても学びが多い内容でした。

第二部 10：30～12：00

実践！職場でのハラスメント防止の取組み

講師：さかいりハ訪問看護ステーション

取締役 執行役員部長 外口憲章氏

講師：国保直営総合病院 君津中央病院

医療技術局長 児玉美香氏

ハラスメント対策について、介護保険事業所（通所・訪問）、総合病院などでの具体的な取組みをご紹介します。

実際に経験したハラスメント事例や、組織としての対応策、職員全体での共通認識の構築など、色々と役立つ内容の多いお話をいただきました。

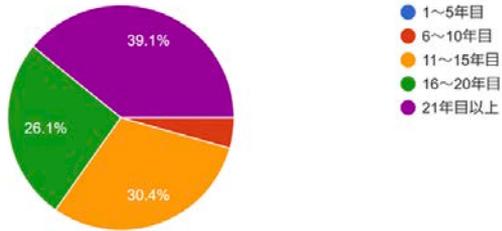
今後もハラスメント対策委員会として、皆様の日頃の悩みを少しでも解決できるような、また色々な悩みを共有できるような研修会を企画していきたいと思えます。



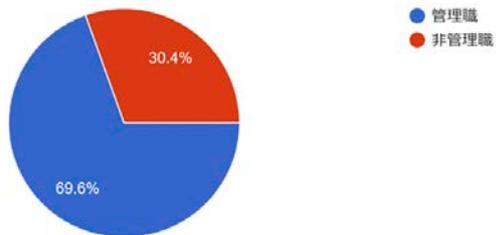
[アンケート結果]

回答：23人／26人

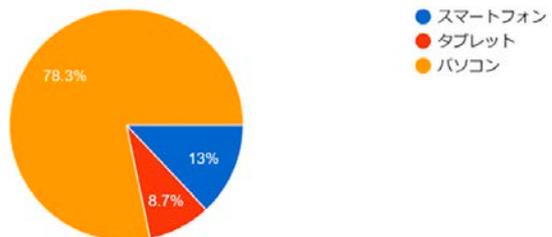
・経験年数



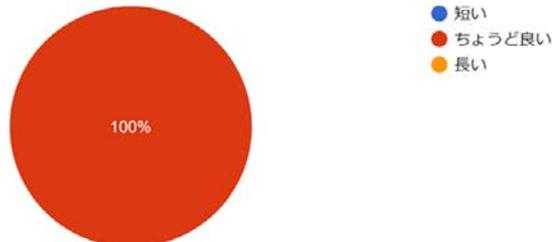
・所属先立場



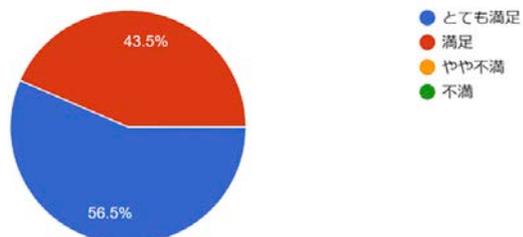
・受講時使用端末



・講習会時間（長さ）



・満足度



・自施設でのハラスメント防止の取組み

法令要件を満たす／窓口・担当者の設置／アンケート実施／研修会実施／定期的な職員面談／普段からの声掛け／聞き取り

・次回以降の希望テーマ

管理者自身のストレス対処法／実習生へのハラスメント対応法／ハラスメント相談機構について／心理的安全性について／ハラスメント防止のためのコミュニケーション方法／熱い上司からの指導に対する対応方法／若手職員向けレクチャー

📍第29回千葉県理学療法学会関連報告④

広報局長 纈 纈 琢 磨

第29回千葉県理学療法学会

- テーマ：点から線へ ～存在の再確認～
- 会 期：2024年3月3日（日）
- 会 場：国際医療福祉大学 成田キャンパス
- 大会長：宮内 守
(イムス佐原リハビリテーション病院)
- 準備委員長：横谷 浩士（国保旭中央病院）
- 開催方式：ハイブリッド開催（対面発表・リモート発表・オンデマンド配信予定）
- 基調講演：「リハビリテーションの本質と理学療法」
吉尾 雅春氏
(千里リハビリテーション病院副院長)
- 第29回千葉県理学療法学会HP 二次元コード



●事務局長 挨拶

『成田でお会いしましょう』

事務局長 山 岡 郁 子
(藤リハビリテーション学院)

第29回千葉県理学療法学会は成田市の国際医療福祉大学で3月3日（日）に開催されます。

香取海匝ブロック担当での初の大会として、イムス佐原リハビリテーション病院の宮内 守 大会長、総合病院国保旭中央病院の横谷浩士 準備委員長におかれましては、何と、前回大会の準備期間より2年がかりでご準備いただいています。

会場は印旛ブロックの成田ですが、参加者の皆様が少しでもお越しいただき易くなるようにと、準備委員

会で企画いたしました。

ブロック活動開始以前より、香取海匝地区は隣接する中核病院が地域連携し、活動が盛んな地区でしたが、ブロック化によりPT同士の繋がりが更にできてきました。

その成果が、今回の第29回大会だと思います。大会長が「点から線へ」をテーマとされたように、香取海匝ブロック会員のこれまでのご努力の積み重ねと、これからの在り様をお示しいただいている気がします。

「質実剛健」な、でも柔軟なメンバーが鋭意準備中の第29回大会は、参加者目線の大変有益な大会になること間違いなしです！

次世代を担う若手の会員や、学生さん達にも、先生方の活躍する姿や大会の雰囲気などを味わってほしいなと、考えています。

皆様、3月3日（日）は、ひな祭り♪ ぜひとも成田でお会いしましょう！

お待ちしております！

●広報局長 挨拶

『多くの方々と会場で』

広報局長 纈 纈 琢 磨
(小見川あすなろクリニック)

前回大会に引き続き、広報局長を務めさせていただいております。医療法人社団 君津あすなろ会 小見川あすなろクリニックの纈纈と申します。

今大会は私が所属するクリニックがある香取海匝ブロックが担当ということもあり香取海匝ブロック長であり、今大会長である宮内先生をはじめブロックのコアメンバーの先生方と準備を進めていております。

今回の学会大会のテーマは『点から線へ～存在の再確認～』という事でシンポジウムでは千葉県内で活躍されている先生方が、各病期でどのような視点でどのような取り組みを行っているかをご紹介いただき、それぞれが目指すところや、それぞれの取り組みの繋がりについてお話しいたします。県士会会員の皆様も様々な場面で理学療法を実施しているかと思いますが、シンポジストの方々のお話を聞くことでシームレスな理学療法の提供についてイメージを広げることができるのではないかと思います。

また、基調講演では千里リハビリテーション病院副院長である吉尾雅春先生に『リハビリテーションの

本質と理学療法』という重厚なテーマでご講演していただく予定です。これは参加される皆様にとって非常に有益な時間となり、理学療法士としての存在の再確認に繋がることと思います。

私としましては、前回大会に引き続き多くの方々に第29回千葉県理学療法学会大会に参加していただけるように広報活動に全力を尽くしてまいりたいと思います。皆様の奮ってのご参加を、準備委員一同お待ちしております。

☒一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和5年度 第7回理事会 議事録

日 時：令和5年8月11日（金）19時00分～21時00分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦
高橋 聡、小川明宏、藤井 顕
高杉 潤、桑江 豊、松田 徹
三和真人、小林好信、森田悠介
大住崇之、川村雄輔、森下勝行
深田 亮、竹内真太
〈監 事〉西山晴彦、児玉美香、松川基宏
〈委 任 状〉渡辺政基
〈欠 席〉中村亮太
〈委 員 長〉内村 元
〈事 務 局〉奥村龍之
〈書 記〉菊池俊明

1 報告

1) 会長報告

6月10日から本日までの行動概要について報告された。

2) 三役局長会議報告

三役局長会議は8月10日に開催され、理事会の議案調整等の議題について報告された。

3) 10月8日組織運営協議会参加者の検討

組織運営協議会参加者について、出席者及び傍聴者について以下のとおり案内された。

日時：2023年10月8日（日）11：00～16：00

開催方式：Web会議

対象出席者は、都道府県理学療法士会会長、傍聴者は都道府県理学療法士会理事（上限10名）を予定している。

4) 事務局報告

事務局会議について、以下のとおり7点を報告された。

①事務局引き継ぎ会議の報告、②会員向け郵送物秋号について、③県士会ニュース10月号について、④事務所カードキーの貸与対象者に関して、⑤人材バンク事業の取り扱い部署に関して、⑥年間スケジュール（理事会、三役局長会議など）、⑦Zoomライセンス付与

5) 生涯学習局の体制についての報告

生涯学習局の体制について、以下のとおり報告された。
局長：小林好信氏（千葉医療福祉専門学校）、次長：竹内真太氏（国際医療福祉大学）
前期研修部 部長；検討中、後期研修部 部長；池田一樹氏（亀田総合病院）
企画研修部 部長；室井大佑氏（千葉県立保健医療大学）

6) 千葉労働局話し合いについて

8月2日に千葉労働局と以下の内容を継続的に話し合いすることについて情報共有された。

第14次労働災害防止計画に作業行動に起因する労働災害防止対策の達成に向けて「理学療法士等を活用した事業場における労働者の身体機能の維持改善の取り組みを支援する…」とあるように労働災害特に腰痛予防や転倒転落防止に県士会として関われる取り組みを今後検討していく。

7) 公益事業局会議報告

以下の内容の参加要請に対する公益事業局の対応について報告された。

- ①（健康増進支援部）千葉市市民健康づくり大会；不参加（関東甲信越ブロック学会日程との重複のため）
- ②（障がい者スポーツ推進部）ボッチャ大会；参加。

8) 障がい児者支援部研修会：2023年度こどものリハビリセミナー」の開催

障がい児者支援部より「発達障害の子どもの理解と対応のキソ」をテーマとした研修会の開催を予定して

いることを報告された。年内に会員・非会員の扱いについて、三役・局長会で検討して県士会としての方向性を決める方針であることが報告された。

9) 印旛ブロックの交流会参加者について

交流会への非会員の参加の可否について、8) 同様、年内に県士会としての方向性を定めることが報告された。

10) 第29回学術大会の進捗報告

6月27日にホームページを開設済みとなり、現在、演題募集中(8月1日～9月30日)について報告された。

11) 学術誌「理学療法の科学と研究」のJ-stage公開について

「理学療法の科学と研究」Vol.1～Vol.14 すべての巻のJ-stageへの公開作業が完了したことを報告された。

12) 学術研究助成の進捗報告

学術研究助成の進捗について報告された。2023年8月10日～9月30日の期間で公募中である。

13) ハラスメント防止講習会講師料について

例年実施しているハラスメント防止講習会について、内容及び講師料などについて報告された。

14) 田中まさし講演会について

令和5年8月25日(金)に田中昌史先生をお招きして講習会を以下のとおり開催することが報告された。
「リハビリテーション専門職を取り巻く直近の動向」
日時：令和5年8月25日(金)19時00分～20時30分
会場：千葉市文化センター5階セミナー室

2 審議事項

1) ニューレジリエンスフォーラム千葉

7月29日(土)ニューレジリエンスフォーラム千葉呼びかけ人会が開催され、同フォーラム賛同者の募集の依頼があった。このことについて県士会として、理事・部長・ブロック長に依頼をすることについて審議され、承認された。

2) 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会各組織の承認について

第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会の組織について以下のとおり審議され、賛成多数にて承認された。
事務局：大住崇之氏、運営局：小川明宏氏、学術局：竹内真太氏、渉外局：中村亮太氏、広報局：桑江豊氏、第30回千葉県理学療法学会会長：小林好信氏

3) 生涯学習局に紐づく新設委員会の名称と体制について

生涯学習局に紐づく新設委員会の新設及び委員長に竹内真太氏を選出することが賛成多数にて承認された。
なお、委員会の名称は生涯学習局にて選定することが承認された。

3 協議事項

1) 理事会の運営方法について

理事会の進行方法について、また今年度は2か月に1回のハイブリッド開催及び、年度2回の拡大理事会を開催する案について意見交換が行われた。

2) 領域別(疾患別)部会の設置について

日本理学療法士協会や各理学療法士学会より、それぞれの領域について人選を依頼されることが多い。そのため千葉県内の人財を確保・育成するために以下の領域に部会を設置することについて意見交換を行った(例：糖尿病・心臓・小児・がん・臨床教育など)。

次回、令和5年度第8回理事会

日時：令和5年9月8日(金)

会場：ハイブリッド開催(県士会事務所)

以上



●令和5年度 第8回理事会 議事録（メール審議）

1 日時：令和5年9月11日（月）～15日（金）メール審議

2 出席者：千葉県士会役員メーリングリストに加入している全理事および全監事

3 議題

1) 令和5年度予算改定についての審議

千葉県士会新体制における部局・委員会再編成に伴う修正予算案を提出し承認された。

〈修正箇所〉

①学術局 → 生涯学習局

登録・認定・専門管理部の廃止→局予算への変更（900,000円）

②医療保険部・介護保険部 → 合併し「医療・介護保険部」予算も合算

③養成校ネットワーク推進委員会と臨床実習指導者講習会検討委員会 → 合併し「卒前卒後教育連携推進委員会」予算も合算

2) 部長の交代についての審議

公益事業局スポーツ支援部と健康増進支援部の部長交代に伴い以下2名を推薦し承認された。

①スポーツ支援部：大山隆人（西川整形外科）

②健康増進支援部：笠原啓介（君津中央病院）

3) 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会（以下、関プロ学会）・第30回千葉県理学療法学会（以下、県士会大会）運営に関する提案について、以下4つ提案された。

(1) 県士会大会と関プロ学会の同時開催に関する提案
県士会大会は関プロ学会と同時開催（開催日は10月5日、6日の2日間）とし、これにより両学会の参加者が両方の学会に参加できるよう配慮する提案について承認された。

(2) 県士会大会参加費の設定についての提案

県士会大会の参加費については、関プロ学会と同額（2日間で事前6,000円）と設定する。県士会大会と関

プロ学会は合同大会として運営し、同一予算にて運営を行うため、決算報告も合同となる旨提案され承認された。

(3) 準備委員会の会議費と交通費の費用弁済に関する提案

準備委員会に関する会議費・交通費の費用弁済については、事務負担を軽減し効率化を図るため、一律でWEB会議は3,000円、対面会議は5,000円（交通費込み）とする。ただし、遠方での視察など宿泊が必要な場合は、大会長・準備委員長・各局長については、交通費（実費）、宿泊費（県士会規程に従う）、他の参加費など必要な経費を負担する旨提案され承認された。

(4) 県士会大会の演題募集期間早期周知の提案

今年度開催予定の第29回大会の演題申込み締め切り（2023年9月30日）を終えた後、次回第30回大会の開催日程および演題募集期間（2023年4月～5月予定）が早まることを、県士会の会員に周知する旨提案され承認された。

4) 臨床実習指導者講習会 世話人の認定の件

2023年8月に臨床実習指導者講習会世話人認定申請のあった以下6名について、要件を満たしていたため認定を行う旨審議され承認された。

①角 正美（植草学園大学）

②松岡瑞雄（植草学園大学）

③窪谷珠江（植草学園大学）

④稲垣 武（千葉県立保健医療大学）

⑤中崎 満（八千代リハビリテーション学院）

⑥斎藤亮太（藤リハビリテーション学院）

●令和5年度 第9回理事会 議事録

日時：令和5年10月13日（金）19時00分～21時00分
場所：WEB会議

出席者：〈理事〉 田中康之、薄 直宏、竹内弥彦、高橋 聡、小川明宏、藤井 顕、松田 徹、高杉 潤、桑江 豊、三和真人、小林好信、森田悠介、大住崇之、川村雄輔、深田 亮、竹内真太、渡辺政基、中村亮太

〈監事〉 西山晴彦、児玉美香、松川基宏

〈委任状〉森下勝行
〈欠席〉なし
〈委員長〉内村 元
〈事務局〉奥村龍之
〈書記〉菊池俊明

1 報告

1) 会長報告

○会長行動報告

9月8日から本日までの行動概要について報告された。

○三役局長会議報告

三役局長会議は、議案調整等について行われたことを報告された。

2) 事務局会議報告

事務局会議について、以下のとおり11点について報告された。①県士会ニュース12月号原稿、②会員向け郵送物秋号進捗、③部員、ブロックコアメンバー名簿作成、委嘱状発行についての進捗、④Zoomライセンス管理進捗、⑤11/6 都道府県理学療法士会 広報担当者会議、⑥理事辞任に関する規程に関すること/部長、委員長、部員、委員の任命の規程に関することの進捗、⑦事務局BCP訓練の進め方について、⑧ホームページリニューアル進捗、⑨2023年度事務局長会議報告、⑩各ブロックからの広報手段についての要望について、⑪11月10日拡大理事会開催方法について

3) 公益事業局報告

以下の3点について報告された。

- ①11月5日 障がい児・者支援部セミナーについて「発達障害の子どもの理解と対応のキソ」
- ②11月3日 スポーツ支援部ブラッシュアップセミナーについて「スポーツ現場サポートスタッフブラッシュアップセミナー」
- ③関東甲信越ブロック協議会スポーツ関連事業運営委員会について（小川副会長より）

4) 「糖尿病対策推進に関する情報交換会」への参加報告

第9回日本糖尿病理学療法学会学術大会内にて開催された「糖尿病対策推進に関する情報交換会」への参加報告をされた。田中会長より、今後は他の学会等の兼ね合いもあるためこのような事案については事前に

連絡するよう協力依頼があった。

5) 千葉労働局からの依頼について

「安全衛生活動支援及び千葉県+SAFE協議会運営」への協力依頼及び、回答内容について報告された。

6) 2024年度千葉県理学療法士講習会

投票の結果、上位2つの同数により10月16日（月）まで決選投票を行うことについて共有された。

7) 研究倫理の申請方法の周知について

研究倫理申請のホームページ及び各ブロックへの周知等について報告された。

窓口については、引き続き一度事務局で受けてから研究倫理委員会での対応となることを共有された。

8) 政策検討委員会 講演会報告

以下のとおり9月21日に開催した講演会について報告された。

日時：令和5年9月21日（木）19時～20時30分

場所：ホテルマークワンCNT（千葉ニュータウン中央）1階会議室

講師：松本 尚氏（衆議院議員）、田中まさし氏（参議院議員）

内容：リハビリ専門職を取り巻く医療・介護・福祉の動向

参加者：136名

9) 災害対策委員会アンケート調査回答協力メール本文について

今後実施する「災害に備えリハビリテーション専門職が平時にできることに関するアンケート調査」について、対象者、内容等について報告された。

2 協議事項

1) 公益事業の情報集約について

各部への依頼を情報集約するためのフォームの作成状況について報告された。フォームの内容については、10月21日（土）までにメールにて意見集約をすることを共有された。

2) 推進リーダー研修について

今年度の研修形式は、昨年度同様にオンデマンド研

修とすることが報告された。

なお、eラーニングの免除規定、県士会指定事業、案内方法について確認され、メールにて意見集約をすることを共有された。

田中会長より、現状について以下の内容を確認するよう意見があった。①推進・介護予防リーダーを持っている方でどれだけ活動しているか、②持っている方で、今後活動に協力できるか等。

3 審議事項

1) 2024年度県士会会費見直しについて

三役局長会議で検討した結果、2024年度も9,000円とし、2025年度以降については来期検討する案について、賛成多数にて承認された。今後、代議員にてメール審議等を進めることも共有された。

2) 会員所属施設主催症例検討会および更新研修会のブロック内周知について

会員所属施設主催症例検討会および更新研修会に関して、ブロック内メーリングリストなどを用いてブロック内で周知を行うことについて、賛成多数にて承認された。

3) 関東甲信越ブロック学会・千葉県理学療法士学会大会運営会社の選定について

運営会社の選定について、他社との見積もりにより株式会社幕張メッセとすることが賛成多数にて承認された。

4) 東葛北部ブロックの役員選任について

東葛北部ブロック役員を選任において、勤務先が東葛北部ブロックではない遊佐 隆氏を選任することについて、賛成多数にて承認された。

なお、理由として遊佐氏は、ブロック立ち上げ当初より副ブロック長として関りのあること、新任役員およびブロック運営に関する助言等を継続して行っていた方が他にいないためである。今後の課題として、基準の明確化が必要という意見が出された。

5) 臨床実習指導者講習会の世話人認定者について

2023年9月に臨床実習指導者講習会世話人認定申請のあった以下の2名について、賛成多数にて世話人に認定された。植草泰憲氏（植草学園大学）、鈴木光司

氏（日本医科大学千葉北総病院）。

6) 会員所属施設主催症例検討会および更新研修会のブロック内周知について

令和5年10月現在、当初予定していた以上に研修会や講演会の開催頻度が多くなり、当初の予算を超えているため、30万円の補正予算を申請し、賛成多数にて承認された。

7) 部長の変更について

健康増進支援部の部長が、令和3年度、令和5年度の組織図上菅野央倫部長で変更がないにも関わらず、第8回理事会審議事項の「議題2：部長の交代についての審議」において、菅野様から笠原様へ変更した旨を審議した。しかし事務局が各部局リスト確認の際に生じた誤りであることが後に発覚。そのため、第9回理事会の審議事項で改めて、笠原様から菅野様（株式会社タカサ 福祉健康部）に戻すための再審議を行い、賛成多数にて承認が得られた。

次回、令和5年度第10回理事会

日時：令和5年11月10日（金）

会場：ハイブリッド開催（県士会事務所）

開催方法：拡大理事会（各部長にWEB参加を要請）

以上



❖お知らせ❖

令和5年度 千葉県生活期リハビリテーション研修会開催のお知らせ (千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会)

千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議

〈開催のご案内〉

今年度も、三士会合同による「生活期リハビリテーション研修会」を開催いたします。

今年度はリスク管理、他職種から求められていることに加えて、こどもの訪問リハビリテーションに関する講演、事例紹介で構成の準備をしております。こどものリハビリテーション、訪問リハビリテーションの経験の有無は問いません。興味・関心がある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

研修テーマ：「求められる訪問リハビリテーションとは ～地域で暮らす人を多職種で支える！～」

- 「在宅で遭遇する急変時の対応」
- 「訪問リハに求めること」 看護師・ケアマネジャー・相談支援専門員
- 「こどもの訪問リハビリテーションの基礎」
- 「こどもの訪問リハビリテーションの実際」 事例紹介・フリーディスカッション

記

日 時：令和6年2月4日（日）9時30分～17時00分（予定）

開催形式：Zoomミーティングによるオンライン研修（参加者各自のネットワーク環境が必要です）

受講対象：千葉県理学療法士会員、千葉県作業療法士会員、千葉県言語聴覚士会員

定 員：60名

プログラム：別紙参照

会 費：無料

申込URL：<https://forms.gle/xm72Td3KkhLa61Nv7>



※各士会のホームページに研修内容の詳細及び受付方法を掲示します。

【研修に関するお問い合わせ先】

訪問リハビリテーション実務者研修実行委員会
委員長 外口 徳章

E-mail：chiba_houmon@yahoo.co.jp

開催形式：Zoomミーティングによるオンライン参加

令和5年度 生活期リハビリテーション研修会
(千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会)

主催：千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議
運営：千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会

「求められる訪問リハビリテーションとは ～地域で暮らす人を多職種で支える！～」

令和6年2月4日(日曜日) 9:30～17:00

時刻	時間数	講義内容	説明	役割	所属	職種など	講師(敬称略)	
9:15			受付開始(早めの入室をお願いします。)					
9:30		開講式		座長	千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会			
9:40	60	在宅で遭遇する急変時の対応 (質疑応答)	セラピストが知っておくべき医療的対応 講演を受けて現場で悩んでいることを相談	講師	千葉県医師会へ依頼	医師	順次更新	
10:40			休憩(10分)					
10:50	30	訪問リハに求めること ～訪問看護師の立場から～	それぞれの職種の役割と連携について	講師	千葉県訪問看護ステーション協会へ依頼	看護師	順次更新	
11:20		休憩(5分)						
11:25	30	訪問リハに求めること ～ケアマネの立場から～		講師	千葉県介護支援専門員協議会へ依頼	ケアマネジャー	順次更新	
11:55		休憩(5分)						
12:00	30	訪問リハに求めること ～相談支援専門員の立場から～		講師	千葉県千葉リハビリテーションセンター	相談支援専門員	森戸 崇行	
12:30			昼休憩(60分)					
13:30				座長	研修会実行委員会			
15:00	90	こどもの訪問リハビリテーションの基礎	こどもの訪問リハ 総論	講師	一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 株式会社 リニエR 取締役	常務理事	竹中佐江子	
15:10			休憩(10分)					
16:20	70	こどもの訪問リハビリテーションの実際	PT・OT・STから事例紹介 15分ずつ フリーディスカッション 20分	座長 発表者	千葉県実務者研修会 千葉 美夏 浦部 智章 半沢 純子	リハビリテーション花見川 訪問看護ステーション花くら 訪問看護ステーション船橋		
16:25	10	千葉県理学療法士会での小児リハへの取り組み	休憩(5分)		千葉県理学療法士会	PT	代表者	
16:35	10	千葉県作業療法士会での小児リハへの取り組み			千葉県作業療法士会	OT	代表者	
16:45	10	千葉県言語聴覚士会での小児リハへの取り組み			千葉県言語聴覚士会	ST	代表者	
16:55	5	閉会挨拶						
17:00	5	アンケート						

※講師については、変更になる場合がございます。

❖ 編集後記 ❖

●話そう！つながろう！

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

日に日に気温が下がってきていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今号の巻頭は第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会（以下：関ブロ）の準備委員長である薄先生より来年の関ブロのテーマ『話そう！つながろう！理学療法』に決定したとのお話がありました。

昨年度の第28回千葉県理学療法学会も久しぶりの対面開催ということもあり、多くの方々が対面で参加していただきました。私も運営として参加しており、久しぶりに先輩や後輩と直接お会いして話す機会

がありました。また、新たにお話しできた先生方と新たなつながりを持つことができました。

この3月に行われる第29回千葉県理学療法学会（以下：第29回大会）も対面とオンデマンド配信のハイブリット開催ですが前回大会とは異なりオンデマンド配信での発表はメイン会場での発表等だけとなります。また、演題募集に対しても100演題を超える応募があり、第29回大会も大盛況になりそうな予感しております。

第29回大会でも、多くの仲間や新しく出会った方々と『話そう！つながろう！』です！！

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは
令和5年12月31日です！

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ
<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 琢 磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunargroup.jp